

令和2年度 コミュニティからの意見

城北 コミュニティ

<p>ご意見 1</p>	<p><b>【生涯学習クラブの要件改善】</b></p> <p>現在、活動人員 10 人以上の要件がありますが、最近ではコミュニティとも、人口減少や高齢化などで増員が難しい現状となっています。10 人を切った場合は、クラブとして認められず</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>★コミュニティセンターの使用は、有料となります。</li> <li>★年 1 回の練習成果発表の場であるコミュニティまつりに参加出来ない。など学習意欲を阻害し、クラブのやる気を低下させます。</li> </ul> <p>書類上、人数を合わせて活動しているクラブもあると聞いたことがあります。少数であっても日々練習に励み、高齢者の交流や、健康長寿にも頑張っているクラブもたくさんあります。現状を考慮し、人数の要件を外してください。</p> <p>地域の皆さんの学習意欲を高め、活気ある交流の場を奪うことなく、市の方々には、現状を把握して頂き、よりよい生涯学習クラブとなるよう、これまで以上のご支援をお願いします。地域のささやかな活動へのご理解を重ねてお願い致します。</p> <p>(回答)</p> <p>ご指摘のとおり、市内における他の生涯学習クラブ団体においても、「会員の高齢化等により、会員 10 人以上集めるのが難しくなっている。」等のご意見をいただいております。</p> <p>生涯学習クラブ活動の主管課といたしましては、本件について検討しなければならない課題であると認識しておりますが、一方でコミュニティセンターを有料で使用している団体の皆様との関係上、クラブ活動の要件を定める必要があることから、人数要件を外すことは難しいと思われまます。</p> <p>しかし、本市では、「学びのための環境づくりの推進」を基本目標としており、学習施設の有効活用を望んでおります。地域の皆様の活動を支援できるように、関係者と協議しながら、改善できる点については改善していきたいと思っておりますので、ご理解賜りますようお願い申し上げます。</p>
<p>ご意見 2</p>	<p><b>【丸亀市コミュニティバスの運行について】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ターゲットを明確にする。(主たる乗車対象者は高齢者、学生?)</li> <li>2. 運転免許返納者の運賃無料             <ul style="list-style-type: none"> <li>移動手段が無料になれば返納しやすくなり交通事故の減少及び乗客の増加が見込まれます。</li> </ul> </li> <li>3. コース、停留所：バスの都合ではなく乗客の都合に合わせて欲しい。 城北地区（買い物難民地区）の中心部を運行（要停留所）して欲しい。 例：JR 高架下側道等</li> <li>4. パワーシティ丸亀への乗り入れ。</li> <li>5. 東線：①けんこう公園近辺への停留所を設ける。              停留所はけんこう公園中間道路。(停留所名：けんこう公園前停留所)              ②富士見町 3 丁目停留所：山口屋質店の近辺。</li> </ol>

(回答)

1. 移動手段として自家用車の利用が困難な方を乗車対象者と考えております。今後のより効果的な運行を考えると、対象を絞ったダイヤやルートも検討する必要があると考えております。
2. 運転免許の自主返納を支援するため、運転経歴証明書交付手数料の助成やタクシー利用券等の交付を行っているほか、コミュニティバスの運賃も半額としていますが、現在のところ無料化の考えはありません。
3. 城北地区の中心部は道路の幅員が狭く、一方通行や車両制限があるなど運行ルートの設定が難しい状況です。路線を見直す際には、ご意見も踏まえて現状通行可能なルートで検討いたします。しかしながら、コミュニティバスですべての移動ニーズ（買い物難民等の課題）にお応えできるものではないので、他の手法も含め、地元コミュニティでもご検討いただければと思います。
4. 乗り入れについては、店舗敷地に安全に乗降できるスペースやバスを駐車させる駐車枠の確保、自家用車との通行ルートの整理等も必要となります。また、浜街道沿いへの停留所設置も交通量が多いことから事故につながる可能性が高くなり、いずれも条件的には厳しい状況です。現在は丸亀垂水線の丸亀港が最寄りの停留所になりますが、利用の多い店舗であることは認識しておりますので、より近い場所に停留所を設置できないか研究してまいります。
5. バス停の新設や移設については、設置するバス停の利用者の見込みのほか、道路の構造や交通規制、交通量からの安全面などから可否を判断することになります。ご提案の2カ所につきましても、運行事業者と現地の状況を確認するとともに、地元コミュニティともご相談しながら調整させていただきます。